

義務教育学校・小中一貫校の共通メリット・課題点

○ メリット	● 課 題 点
① 9年間の系統性を確保した教育課程の編成および教育課程特例による特別の教育課程の編成 ② いわゆる「中1ギャップ」の解消 ③ 中学校進学への不安の軽減・解消 ④ 様々な形や小・中間の異学年交流の機会の拡大 ⑤ 上級生が下級生の手本になろうとする意識の高揚 ⑥ 小学校高学年からの部活動参加を可能にすることにより、知識・技能・意欲等の向上 ⑦ 中学校教員の専門性を活かした小学校の授業への乗り入れ ⑧ 教員の児童・生徒理解の促進および養護教諭や事務職員間の円滑な引継ぎ ⑨ 小中の教員による協働（様々なケースへの対応力の向上） ⑩ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、専門スタッフの有効活用	① 小学校課程～中学校課程の同じ人間関係の継続 ② 小中合同行事の企画・運営など、創意・工夫が必要 ③ 中学生相当の生徒による小学生相当の児童への生徒指導上の問題行動に関する悪影響の恐れ ④ 小学校高学年の児童のリーダーシップや自主性を養う機会が減少する可能性